

7. IDEN別生徒用教科書調達品目・数量一覧

No.	県視学官名	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
1	ピキン市	国語	768	768	915	915	409	409	4,184
		算数	1,127	1,127	1,490	1,490	602	602	6,438
		地理	-	-	525	525	715	715	2,480
		理科	-	-	975	975	975	1,025	3,950
		小計	1,895	1,895	3,905	3,905	2,701	2,751	17,052
2	グラン・ダカール1地区	国語	147	338	31	-	71	718	1,305
		算数	857	928	-	229	298	298	2,610
		地理	-	-	607	621	618	658	2,504
		理科	-	-	650	650	579	592	2,471
		小計	1,004	1,266	1,288	1,500	1,566	2,266	8,890
3	ゲジャワイ市	国語	360	465	502	392	413	413	2,545
		算数	360	465	502	392	413	413	2,545
		地理	-	-	502	392	413	413	1,720
		理科	-	-	520	520	520	410	1,970
		小計	720	930	2,026	1,696	1,759	1,649	8,780
4	ルフィスク市1	国語	259	255	308	175	180	305	1,482
		算数	128	125	132	207	150	168	910
		地理	-	-	125	125	100	100	450
		理科	-	-	80	85	103	134	402
		小計	387	380	645	592	533	707	3,244
5	ルフィスク市2	国語	410	316	354	506	465	613	2,664
		算数	410	316	354	506	465	613	2,664
		地理	-	-	354	465	465	500	1,784
		理科	-	-	480	480	480	480	1,920
		小計	820	632	1,542	1,957	1,875	2,206	9,032
6	ダカール・バンリユ地区	国語	64	384	425	425	403	403	2,104
		算数	556	556	345	345	418	418	2,638
		地理	-	-	345	345	418	418	1,526
		理科	-	-	345	345	418	418	1,526
		小計	620	940	1,460	1,460	1,657	1,657	7,794
7	グラン・ダカール2地区	国語	559	559	624	624	719	719	3,804
		算数	1,025	1,025	643	643	527	527	4,390
		地理	-	-	500	500	465	465	1,930
		理科	-	-	450	450	450	450	1,800
		小計	1,584	1,584	2,217	2,217	2,161	2,161	11,924
8	ティエス市	国語	446	446	260	260	265	761	2,438
		算数	1,108	1,203	64	64	355	364	3,158
		地理	-	-	1,780	-	1,997	-	3,777
		理科	-	-	1,497	-	1,806	-	3,303
		小計	1,554	1,649	3,601	324	4,423	1,125	12,676
9	ティエス県	国語	550	550	510	510	605	605	3,330
		算数	675	675	530	530	620	620	3,650
		地理	-	-	456	-	423	-	879
		理科	-	-	456	-	423	-	879
		小計	1,225	1,225	1,952	1,040	2,071	1,225	8,738
10	ンブール県	国語	500	500	350	350	400	400	2,500
		算数	600	600	515	515	450	450	3,130
		地理	-	-	502	-	380	-	882
		理科	-	-	502	-	380	-	882
		小計	1,100	1,100	1,869	865	1,610	850	7,394
11	ティバワンヌ県	国語	210	210	410	410	315	315	1,870
		算数	210	210	410	410	315	315	1,870
		地理	-	-	820	-	630	-	1,450
		理科	-	-	820	-	630	-	1,450
		小計	420	420	2,460	820	1,890	630	6,640

12	カオラック市	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	1,998	1,280	1,271	1,173	1,040	571	7,333
		算数	380	347	1,116	1,040	950	1,030	4,863
		地理	-	-	616	615	500	531	2,262
		理科	-	-	558	558	547	547	2,210
	小計	2,378	1,627	3,561	3,386	3,037	2,679	16,668	
13	カオラック県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	630	527	426	422	342	261	2,608
		算数	630	527	426	422	342	261	2,608
		地理	-	-	426	422	342	261	1,451
		理科	-	-	426	422	342	261	1,451
	小計	1,260	1,054	1,704	1,688	1,368	1,044	8,118	
14	ニヨロ・デュ・リップ県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	524	395	328	295	328	366	2,236
		算数	446	391	328	295	329	366	2,155
		地理	-	-	458	458	374	374	1,664
		理科	-	-	458	458	374	374	1,664
	小計	970	786	1,572	1,506	1,405	1,480	7,719	
15	カフリン県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	577	544	643	590	527	445	3,326
		算数	848	827	695	682	456	407	3,915
		地理	-	-	575	608	515	495	2,193
		理科	-	-	623	626	506	478	2,233
	小計	1,425	1,371	2,536	2,506	2,004	1,825	11,667	
16	ファティック県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	485	485	458	458	415	415	2,716
		算数	485	485	458	458	415	415	2,716
		地理	-	-	458	458	415	415	1,746
		理科	-	-	458	458	415	415	1,746
	小計	970	970	1,832	1,832	1,660	1,660	8,924	
17	フンジュン県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	380	380	320	320	325	325	2,050
		算数	475	380	376	376	199	222	2,028
		地理	-	-	365	365	350	350	1,430
		理科	-	-	365	365	350	350	1,430
	小計	855	760	1,426	1,426	1,224	1,247	6,938	
18	ゴサッス県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	519	344	383	264	316	318	2,144
		算数	519	344	383	264	316	318	2,144
		地理	-	-	383	264	316	318	1,281
		理科	-	-	383	264	316	318	1,281
	小計	1,038	688	1,532	1,056	1,264	1,272	6,850	
19	ルーガ県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	302	302	195	195	315	315	1,624
		算数	302	302	195	195	315	315	1,624
		地理	-	-	195	195	315	315	1,020
		理科	-	-	195	195	315	315	1,020
	小計	604	604	780	780	1,260	1,260	5,288	
20	ケベメール県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	138	134	-	20	-	40	332
		算数	369	369	150	150	117	117	1,272
		地理	-	-	118	118	70	70	376
		理科	-	-	98	98	50	50	296
	小計	507	503	366	386	237	277	2,276	
21	リンゲール県	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小計
		国語	250	250	310	310	230	230	1,580
		算数	403	403	316	316	280	280	1,998
		地理	-	-	310	310	230	230	1,080
		理科	-	-	310	310	240	240	1,100
	小計	653	653	1,246	1,246	980	980	5,758	
XX	総合計	科目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	総合計
		国語	10,076	9,432	9,023	8,614	8,083	8,947	54,175
		算数	11,913	11,605	9,428	9,529	8,332	8,519	59,326
		地理	-	-	10,420	6,786	10,051	6,628	33,885
		理科	-	-	10,649	7,259	10,219	6,857	34,984
	総合計	21,989	21,037	39,520	32,188	36,685	30,951	182,370	

8. IDEN別生徒用副教材調達品目・数量一覽

県視学官	試験教本	生徒用辞書	文法(3年生)	文法(4年生)	文法(5年生)	文法(6年生)	綴法(3年生)	綴法(4年生)	綴法(5年生)	綴法(6年生)	合計
ピキン市	980	3,950	975	975	975	1,025	775	775	1,200	1,200	12,830
グラン・ダカール地区1	1,300	4,303	1,181	989	1,022	1,111	1,010	1,010	1,127	1,126	14,179
ゲジャワイ市	1,120	1,604	354	350	450	450	401	401	401	401	5,932
ルフィスク市1	748	1,020	160	230	315	315	240	240	270	270	3,808
ルフィスク市2	520	893	265	250	192	186	207	206	240	240	3,199
ダカール・バンリユール地区	910	1,526	345	345	418	418	387	388	375	376	5,488
グラン・ダカール地区2	1,120	1,520	410	410	350	350	410	410	350	350	5,680
ティエス市	1,260	3,777	1,780	-	1,806	-	748	749	1,140	1,140	12,400
ティエス県	512	879	700	-	850	-	228	228	210	213	3,820
ンブール県	615	1,710	860	-	850	-	251	251	604	604	5,745
ティバワン県	420	1,450	820	-	630	-	410	410	315	315	4,770
カオラック市	870	2,262	616	615	500	531	358	357	566	566	7,241
カオラック県	579	1,451	426	422	342	261	357	358	368	368	4,932
ニヨロ・デュ・リブ県	780	1,664	328	327	328	371	409	409	423	423	5,462
カフリン県	567	2,274	667	626	503	478	556	556	581	581	7,389
ファティック県	880	1,746	460	460	430	430	449	448	425	424	6,152
フンジュン県	502	1,550	365	365	410	410	425	425	350	350	5,152
ゴサッス県	318	1,410	385	385	320	320	357	356	349	348	4,548
ルーガ県	413	1,268	320	320	314	314	316	316	318	318	4,217
ケベメール県	415	1,340	210	210	215	215	325	320	348	347	3,945
リンゲール県	313	850	405	405	265	265	231	210	314	313	3,571
合計	15,142	38,447	12,032	7,684	11,485	7,450	8,850	8,823	10,274	10,273	130,460

9. IDEN別教員用教科書調達品目・数量一覧

県視学官	言語学 (1・2年)	仏語 (1年)	仏語 (2年)	仏語 (3・4年)	仏語 (4・5年)	算数 (3年)	算数 (4年)	算数 (5・6年)	地理 (1年)	地理 (2年)	理科 (2年)	理科 (3・4年)	理科 (5・6年)	合計
ピキン市	17	17	17	25	20	13	12	20	17	17	17	25	20	237
グラン・ダカール地区1	24	24	24	35	31	17	18	31	24	24	24	35	31	342
ゲジャワイ市	22	22	22	33	28	16	17	28	22	22	22	33	28	315
ルフィスク市1	14	14	14	20	17	10	10	17	14	14	14	20	17	195
ルフィスク市2	27	27	27	40	34	20	20	34	27	27	27	40	34	384
ダカール・バンリユール地区	19	19	19	28	23	14	14	23	19	19	19	28	23	267
グラン・ダカール地区2	20	20	20	30	26	15	15	26	20	20	20	30	26	288
ティエス市	24	24	24	36	32	18	18	32	24	24	24	36	32	348
ティエス県	15	15	15	22	19	11	11	19	15	15	15	22	19	213
ンブール県	9	9	9	12	9	6	6	9	9	9	9	12	9	117
ティバワン県	8	8	8	12	9	6	6	9	8	8	8	12	9	111
カオラック市	25	25	25	36	31	19	17	31	25	25	25	36	31	351
カオラック県	12	12	12	18	15	10	8	15	12	12	12	18	15	171
ニヨロ・テュ・リップ県	17	17	17	26	22	13	13	22	17	17	17	26	22	246
カプリン県	15	15	15	22	17	11	11	17	15	15	15	22	17	207
フアティック県	16	16	16	24	21	12	12	21	16	16	16	24	21	231
アンジュン県	11	11	11	16	12	8	8	12	11	11	11	16	12	150
ゴサツス県	12	12	12	17	13	10	7	13	12	12	12	17	13	162
ルーガ県	9	9	9	12	10	6	6	10	9	9	9	12	10	120
ケベメール県	13	13	13	18	14	10	8	14	13	13	13	18	14	174
リンゲール県	8	8	8	12	8	6	6	8	8	8	8	12	8	108
合計	337	337	337	494	411	251	243	411	337	337	337	494	411	4,737

10. IDEN別教員用副教材調達品目・数量

県視学官	教員用辞書	学習指導要領	合計
ピキン市	79	79	158
グラン・ダカール地区1	114	114	228
ゲジャワイ市	105	105	210
ルフィスク市1	65	65	130
ルフィスク市2	128	128	256
ダカール・バンリユー地区	89	89	178
グラン・ダカール地区2	96	96	192
ティエス市	116	116	232
ティエス県	71	71	142
ンブール県	39	39	78
ティバワン県	37	37	74
カオラック市	117	117	234
カオラック県	57	57	114
ニヨロ・デュ・リップ県	82	82	164
カフリン県	69	69	138
ファティック県	77	77	154
フンジユン県	50	50	100
ゴサッス県	54	54	108
ルーガ県	40	40	80
ケベメール県	58	58	116
リンゲール県	36	36	72
合計	1,579	1,579	3,158

11. IDEN別教室機材調達品目・数量一覧

県視学官	教材キット	黒板	図書保管庫
ピキン市	79	58	79
グラン・ダカール地区1	114	101	114
ゲジャワイ市	105	91	105
ルフィスク市1	65	65	65
ルフィスク市2	128	105	128
ダカール・バンリユー地区	89	59	89
グラン・ダカール地区2	96	96	96
ティエス市	116	70	116
ティエス県	71	66	71
ンブール県	39	13	39
ティバワン県	37	28	37
カオラック市	117	117	117
カオラック県	57	49	57
ニヨロ・デュ・リップ県	82	77	82
カフリン県	69	66	69
ファティック県	77	76	77
フンジュン県	50	48	50
ゴサッス県	54	50	54
ルーガ県	40	36	40
ケベメール県	58	35	58
リンゲール県	36	52	36
合計	1,579	1,358	1,579

12. 全国公立小学校の生徒数と教室数

生徒数の推移

(単位:人)

州	1998/1999	1999/2000	2000/2001	年平均増加倍率
ダカール	224,361	228,643	224,738	1.00
ティエス	138,663	144,484	152,656	1.05
ファティック	62,836	72,747	79,014	1.12
カオラック	80,094	89,422	93,746	1.08
ルーガ	42,894	47,467	50,636	1.09
対象州合計	548,848	582,763	600,790	1.05
ジガンシヨール	83,251	91,525	93,403	1.06
ジウルベル	46,323	53,566	57,637	1.12
サン・ルイ	92,854	108,091	110,973	1.10
タンバクンダ	52,117	57,891	62,823	1.10
コルダ	85,868	96,560	104,634	1.10
全国合計	909,261	990,396	1,030,260	1.06

教室数推移

(単位:クラス)

州	1998/1999	1999/2000	2000/2001	年平均増加倍率
ダカール	n.a.	3,408	3,521	1.03
ティエス	n.a.	2,446	2,592	1.06
ファティック	n.a.	1,464	1,590	1.09
カオラック	n.a.	1,911	2,019	1.06
ルーガ	n.a.	1,345	1,473	1.10
対象州合計	-	10,574	11,195	1.06
ジガンシヨール	n.a.	1,601	1,623	1.01
ジウルベル	n.a.	1,053	1,154	1.10
サン・ルイ	n.a.	2,129	2,187	1.03
タンバクンダ	n.a.	1,259	1,356	1.08
コルダ	n.a.	1,938	2,048	1.06
全国合計	-	18,554	19,563	1.05

公立小学校数推移

(単位:校数)

州	1998/1999	1999/2000	2000/2001	年平均増加倍率
ダカール	n.a.	326	322	0.99
ティエス	n.a.	492	530	1.08
ファティック	n.a.	377	415	1.10
カオラック	n.a.	472	505	1.07
ルーガ	n.a.	453	518	1.14
対象州合計	-	2,120	2,290	1.08
ジガンシヨール	n.a.	330	333	1.01
ジウルベル	n.a.	292	318	1.09
サン・ルイ	n.a.	512	553	1.08
タンバクンダ	n.a.	504	551	1.09
コルダ	n.a.	580	635	1.09
全国合計	-	4,338	4,680	1.08

13. 奥付案(サンプル)



COOPERATION SENEGAL-JAPON



Aide financière non-remboursable du Gouvernement du Japon
comme symbole de l'amitié de la coopération entre le Sénégal et le Japon



C' est la vie au Japon



米は日本の主食で、私たちは毎日お米を食べています。日本中でたくさんの農家がお米を生産しています。お米は水で蒸して料理し、これを「ご飯」と呼びます。米は菓子や酒の原料ともなり、食文化の中心を担っています。



日本の小学生たちは学校でお昼を食べます。肉や魚、野菜などいろんな種類のオカズをいっしょに摂り、好き嫌いなく残さず全部食べるよう教えられています。その方が健康にいいからです。



注釈： 奥付は両国の類似点や相違点をテーマとすることで、日本の生活・文化の理解につなげることを狙いとしています。米はセネガルの主食であり、両国の類似点として取り上げ、学校給食は日本ではそれが極当然である一方、セネガルでは地域格差があり、給食そのものを就学率向上策のひとつとする試みもある点で両国の相違点として取り上げました。
なお、上記のイラスト、写真、文書内容、構成はすべて仮のものです。

14. 歴史教科書にかかる解説

(1) 歴史授業の対象学年

「セ」国初等教育での歴史の授業は第3学年～第6学年に行われる(フランス式課程ではCE1・CE2・CM1・CM2に当たる)。教科書は3・4年で1冊、5・6年で1冊といったように2学年ごとにまとめて1冊の構成となる。

(2) 教科書内容

第3学年では過去・現代・未来といった時間の流れを把握しつつ、歴史を学ぶことの意義を理解する。日常生活において身近にある歴史題材を発見・検証させ、歴史を学ぶことの楽しみにも触れている。

第4学年では石器時代から中世王朝時代までを概観する。特に王朝の存在意義などを社会共同体の必要性や指導者によるリーダーシップと絡めて、国家の成り立ちとして説いている。近代史については、歴史上の重要人物を例示しつつ概観している。

第5学年では石器時代から近代の初期植民地時代までを範囲とし、そのうち約3分の2が古代・中世の王朝時代の盛衰に関する内容である。セネガル人の祖先については、チック・アンタ・ディオップ博士(ダカール大学)によるエジプト起源説を取り上げている。

第6学年では後期植民地時代から戦後独立までを範囲とする。特に植民地支配とその抵抗活動が主要テーマであり、活動の指導者に係る例示に内容の半分を当てている。日本に関しては、第2次大戦においてナチス・ドイツに加担し、原子爆弾投下により降伏した国として取り上げられている。

チャプターごとのテーマと趣旨内容を別紙1に整理した。

(3) 記載内容大意

教科書内容の客観性に係る参考テーマとして「奴隷貿易」「植民地支配」「独立運動」の3点を取り上げ、概訳したところ以下のとおり。

1) 奴隷貿易(第5学年対象)

奴隷貿易は8世紀ごろからサハラ隊商およびインド洋沿岸商船を通じて始まった。この頃の奴隷は主に北アフリカおよびアラブ諸国へ連れて行かれ、雑役婦や兵隊の要員として利用されていた。

16世紀になるとヨーロッパ人のアメリカにおける鉱山開発や大農場経営の人手として大量に必要となった。奴隷狩りはヨーロッパ人よりむしろアフリカ人自身の手により行われた。アフリカ人による奴隷狩りは凄惨で、村を焼き払い、子供や年寄りを殺し、労働力になる成人男女だけを連れ去った。奴隷となった者は鎖で繋がれ、ヨーロッパ人に売り渡され、船でアメリカに運ばれたが、輸送中の環境が劣悪であったため、多くの奴隷が輸送中に命を落とした。

アメリカに着いた奴隷は大農場経営者などに売られたが、この時点で家族・親族は切り離された。奴隷は主人に対して絶対服従であり、違反したものは体罰を与えられ、死ぬものもあった。

1787年頃より奴隷貿易の禁止にかかる動きが始まり、英国やフランスで禁止促進のための委員会が設立された。

奴隷貿易は19世紀まで続き、数百万人の黒人男女がアフリカから消えた。このことは人類に対する紛れもない犯罪行為である。

2) 植民地支配(第5・第6学年対象)

大航海時代の後に続くアフリカ探検時代を経て、ヨーロッパ列強は次第にアフリカ進出に興味を持ち出した。

当初はアフリカの天然資源や農産物の獲得が目的であった。同時にキリスト教宣教師によるアフリカ人の文明化や改宗も行われた。

ヨーロッパ列強は次々にアフリカ各地を支配していったが、お互いの縄張り争いが起こると、その調整のためベルリン国際会議が開かれ、ここでアフリカ支配の構図が整理された。

ベルリン会議の後、ヨーロッパ列強によるアフリカ支配が加速された。当初は穏和な手段で進出したため、現地の抵抗もほとんどなかった。アフリカ人側もヨーロッパ人の進出は一時的なものと考えていた。しかし、次第に定住が進み、アフリカ人自身の生活・文化に影響が出てくると、人々は支配に対して抵抗を見せるようになった。セネガルでは抵抗運動に対し武力による強硬手段も執られた。現地の諸王国は武装して立ち向かい、武装できない人々も可能な限り手段を講じてゲリラ戦を展開した。

ヨーロッパ列強による支配に対する抗戦は長期間に及んだ。列強は武器を駆使したが、熱帯特有の気候や病気、地理的不案内などにより苦戦を強いられた。

王国に属さない一般の現地人も植民地支配に対して可能な限りの抵抗を示した。複数の村が共同で狩猟道具や農具を武器にゲリラ戦を行ったが、ヨーロッパ人の武器に抗するのには限界があった。そこで、ヨーロッパ人が進軍しにくい山岳部や森林地帯に避難したり、畑の作物を焼き払うなどの手段も執った。もしヨーロッパ人が村に来て人手を要求した場合には、病人や身体障害者を差し出した。

植民地支配はキリスト教への改宗目的もあったため、イスラム教義に基づく精神的抵抗も根強くあった。

3) フランスによる植民地支配 (第6 学年対象)

フランスは植民地を2つのグループにして支配した。中央アフリカ地域を AEF (フランス領赤道アフリカ)、西アフリカ地域を AOF (フランス領西アフリカ) と称した。

両地域とも更に細かい行政区域に分けられ、フランス人行政官が重要事項をすべて取り

仕切った。税の徴収、徴兵、農作物生産、裁判による懲罰等が行われた。

大農場ではコーヒー、カカオ、綿などの栽培のため多くのアフリカ人労働力が動員された。その他の一般農民はヨーロッパ人に必要となる換金作物の生産が義務付けられたため、農民自身の生活に必要な食糧作物の生産が圧迫された。

鉱山開発も進められ、金・銅など地下資源開発のため、わずかな賃金で過酷な労働を強いられた。

内陸で生産された農作物や鉱物をヨーロッパまで運ぶ手段として鉄道の建設が行われたが、ここでも建設に多くのアフリカ人労働者が投入され、過酷な労働から多くの者が命を落とした。

植民地支配者側は開発を進めるためアフリカ人労働力を必要とする一方、アフリカ人側は課せられた税金を払うため労働提供するか、農作物による現物提供をするしかないという社会構図が出来上がっていた。

宗教の面では、多くの宣教師が現地に居を構え、人々への布教や改宗に努めた。宣教師たちは学校を建設し、人々にフランス語による読み書きを教えた。これは人々にヨーロッパ的市民性が広まれば、改宗の促進につながると考えたためである。優秀な学生は更に勉強の機会を与えられ、通訳などとして期待された。

一部の地域ではキリスト教改宗が比較的受け入れられやすかった反面、他の地域ではイスラム教以外の教えを一切受け付けない頑強な抵抗があった。とりわけ、セネガルでは、以前よりイスラム教が普及していたことから、キリスト教に改宗したのは僅かな人々だった。

4) 2つの世界大戦(第6学年対象)

20世紀初頭、第1次世界大戦が始まるとフランスはアフリカ人も軍隊要員とした。フランス領植民地は共同してアフリカのドイツ領を攻撃して成功を収めた。また、セネガル人狙撃手はヨーロッパ戦線でも活躍した。

1939年には第2次世界大戦が勃発し、ヒトラー率いるドイツが世界征服を企んだ。イタリアと日本がドイツを支援し、他の民主主義国がこれに対抗した。フランス本国がドイツに占領されると、フランスのドゴール率いる抵抗戦線が AEF(フランス領中央アフリカ)の支援を得て対峙したのに対し、AOF(フランス領西アフリカ)は1942年までドイツ側に協力した。1945年にドイツが降伏し、数ヵ月後アメリカが日本に原子爆弾を投下して降伏させたことにより大戦は終了した。

5)戦後から独立まで(第6学年対象)

1944年にすべてのフランス領アフリカ植民地関係者がコンゴのブラザビルに召集された。会議の目的は大きく2つあった。ひとつはアメリカ・ソ連による植民地主義反対機運の中、フランスによる植民地支配の再確認であり、もうひとつは2度の戦争を通じてアフリカ人の重要性が認識され、今後も続く争いに対する参戦協力である。

会議の結果、アフリカ人の参政権が認められると同時に強制労働の廃止が約束されたが、植民地の独立や自治については拒否されたことにアフリカ人たちは深く失望した。

2度の世界大戦によりヨーロッパ列強はその力を失い、代わってアメリカとソ連が台頭してきた。国際連合が設立されたことも植民地の人々に希望を与えた。そのような中、セネガル人兵士に対する給与未払いに起因した反乱がダカール近郊のチャロイで発生し、銃撃戦の上多数の死傷者を出した。また、折りしもインドが独立を果たすと、アフリカ各地の植民地で自由獲得のための機運が更に高まってきた。

植民地抗争は知識人から政治家、労働者、一般の人々まで広がりを見せた。フランスは、武力による自由獲得を狙ったインドシナやアルジェリアに対しては武力で対抗したが、アフリカとは対話による交渉を続け、次第に妥協するようになった。

ブラザビル合意を受け、参政権を得たアフリカは1945年の選挙で11人のアフリカ人下院議員を選出した。この中には後の初代大統領となるサンゴールや国会議長ラミン・ゲイも含ま

れる。アフリカ人議員らによる自由化活動はことごとくフランス側より反対され、代わりに 1946 年フランス連盟が設立された。これはフランス領に属するアフリカ植民地の人々にはフランス市民権を与えるという同化政策であり、植民地をフランス文化圏に一体化させる狙いがあった。

1950 年代になると植民地は独立を強く望んでおり、もはや抗する術のないことをフランスは覚り、1956 年にアフリカ人による評議会制度を認めたが、フランスは未だ権力を保持していた。

1958 年にドゴール將軍がフランス大統領になると、植民地に対して共和制自治を認め、代わりにフランス・アフリカ共同体に属するという提案をした。これによりアフリカ人はかなりの行政権を持つことはできたが、最高権限は未だフランスに残されていた。

ドゴール提案に関する国民投票の結果、セネガルを含む大多数のアフリカ諸国はフランス・アフリカ共同体に属することを決議したが、ギニアだけが完全独立を目指して共同体案を否決した。

1959 年、政治・経済の権限強化を狙った国家再編成についてセネガルとマリが合意し、マリ連合が設立された。その後マリ連合は独立を求めて活動したが、連合内の利害が衝突するようになったため、1960 年ついにセネガルは単独で独立し、初代大統領にサンゴールが就任した。

これに続き、同年中に他のアフリカ諸国も次々に独立を果たした。植民地支配以来、80 余年が経過していた。

歴史教科書:前編

対象:第3学年

第1章 時間の流れ

No.	テーマ	趣旨内容
1	過去・現代・未来	過去・現代・未来の違い。
2	私たちの生活	誕生から現在に至るまでの人生の出来事。
3	私たちの家族	系譜を通じた家族の生い立ち・構成。
4	1年の構成	カレンダーの読み方。
5	過去の年代	紀元前から紀元後まで、世紀と年号。

第2章 学校の歴史

No.	テーマ	趣旨内容
6	歴史の授業	歴史とは何か。なぜ歴史を学ぶのか。
7	歴史の情報源	歴史はどのようにして知るのか。
8	歴史の口承	口承による私たちの学校の歴史。
9	校舎の歴史	校舎の建設年号から学校の歴史を学ぶ。
10	歴史の文献	文献から歴史を知る。

第3章 私たちの住む地域や町の歴史

No.	テーマ	趣旨内容
11	過去の回顧	両親や隣人などから口承により自分の地域や町の歴史や当時の生活の様子。
12	町の建物・記念碑	町や地域にある建物・広場・記念碑など。
13	過去の遺跡・痕跡	町や地域に残された過去を知る手がかりとなる遺跡や痕跡。
14	長老・村長など	町や地域の長老や行政機関の長などの構成およびその役割。
15	私たちの町・地域	発見したものや調べた情報からの総括。

第4章 人生における節目

No.	テーマ	趣旨内容
16	伝統的な遊び	伝統的な遊び方とその意義。
17	洗礼	洗礼の文化・伝統に関する理解(過去と現在)。
18	割礼	割礼の文化・伝統に関する理解(過去と現在)。
19	結婚	結婚の文化・伝統に関する理解(過去と現在)。
20	葬儀	葬儀の文化・伝統に関する理解(過去と現在)。

第5章 発展と変化

No.	テーマ	趣旨内容
21	発展の概念	生活環境の発展・進化。
22	食べ物(過去・現在)	食べ物の遷り変わり。
23	家族(過去・現在)	家族における連帯の必要性とその変遷。

対象:第4学年

第6章 経済の発展

No.	テーマ	趣旨内容
24	有史前の人類	有史前人類の生活の営み。
25	最初の進化	進化が生活に与えた影響。
26	漁労(過去・現在)	漁労における進化。
27	狩猟(過去・現在)	狩猟における進化。
28	畜産(過去・現在)	畜産における進化。
29	農業(過去・現在)	農業における進化。
30	灯り(過去・現在)	灯りについての進化。

第7章 政治・文化の進化

No.	テーマ	趣旨内容
31	家族・氏族・部族	共同体の構成の仕方。社会の一員として生きる必要性。
32	王国	王国の意味とそれを構築する理由。
33	王の権威	王権を必要とする理由。
34	宗教	地域共同体における役割。
35	芸術(造形と意義)	何のためにあるか。

第8章 かつてのセネガル

No.	テーマ	趣旨内容
36	初期の王国(1)	初期王国の分布。
37	初期の王国(2)	初期王国の年譜。
38	王国の建設	王国建設の流れ。
39	王国の盛衰	王国盛衰の節目(拡大・戦争・繁栄・衰退)。
40	王国と戦争	戦争の理由と戦い方。
41	王国と平和	平和による利益と平和構築の方法。
42	王国と商業	流通網・役割り・商品・通貨。
43	王国の消滅	消滅の理由。

第9章 セネガルの歴史上の重要人物

No.	テーマ	趣旨内容
44	オマール・タル	その人生と活躍。
45	ラット・ディオール・ディオップ	その人生と活躍。
46	アルブライ・ンジャイ	その人生と活躍。
47	ンジョンベ・ンボッジ	その人生と活躍。
48	アリン・シトエ・ディアッタ	その人生と活躍。

歴史教科書:後編

対象:第5学年

第1章 歴史の始まり

No.	テーマ	趣旨内容
1	有史前	有史前人類の生活の進化。
2	エジプト文明	文明の概要。
3	エジプトの遺産	セネガルとエジプトの相関関係。

第2章 古代の西アフリカ

No.	テーマ	趣旨内容
4	西アフリカでのイスラムの拡大	イスラムの勃興と拡大(サハラ隊商)。
5	ガーナ帝国	その歴史と発展。
6	マリ帝国	その歴史と発展。
7	ソンガイ帝国	その歴史と発展。

第3章 古代のセネガル

No.	テーマ	趣旨内容
8	古代の王国	古代の歴史概要。
9	トゥクラー王国とフタ・トロ王国	王国の誕生から盛衰まで。
10	大ジョロフ王国	王国の誕生から盛衰まで。
11	ワロ王国	王国の誕生から盛衰まで。
12	カヨール王国	王国の誕生から盛衰まで。
13	バオール王国	王国の誕生から盛衰まで。
14	シネ王国とサルーム王国	王国の誕生から盛衰まで。
15	ガンビア川上流およびセネガル東部地域の諸王国	王国の誕生から盛衰まで。
16	カザマンス地域の諸王国	王国の誕生から盛衰まで。
17	ブル族による諸王国	王国の誕生から盛衰まで。

第4章 ヨーロッパ諸国によるアフリカ沿岸進出

No.	テーマ	趣旨内容
18	大航海時代と産業革命	産業革命の概要とアフリカ進出の軌跡。
19	初期の欧州海外拠点	欧州諸国とアフリカ諸国の初期コンタクトと欧州海外拠点の設置。
20	黒人奴隷貿易	起源、方法、結末。
21	18・19世紀のアフリカ大陸探検時代	ヨーロッパ人探検家たちによるセネガルおよびアフリカ内陸部の探査。
22	当初植民地支配(1880-1880)	セネガルおよびアフリカにおける初期植民地支配。
23	ベルリン会議	背景・経緯、内容、結果。

対象:第6学年

第5章 武力抗争

No.	テーマ	趣旨内容
24	アフリカの植民地化	ヨーロッパ列強によるアフリカ支配。
25	植民地化に対する武力抗争	概要・背景・経緯。
26	ラット・ディオール・ディオップ	人物紹介と抗争の背景・経緯。
27	アルブライ・ンジャイ	人物紹介と抗争の背景・経緯。
28	ママドゥ・ラミン・ドラメ	人物紹介と抗争の背景・経緯。
29	ベハンザンとアマゾネス軍団	人物紹介と抗争の背景・経緯。
30	サモリ・トゥーレ	人物紹介と抗争の背景・経緯。
31	オマール・タル	人物紹介と抗争の背景・経緯。

第6章 その他の抗争

No.	テーマ	趣旨内容
32	武力以外による抗争	概要・背景・経緯。
33	アマドゥ・バンバ	人物紹介と抗争の背景・経緯。
34	マリク・シー	人物紹介と抗争の背景・経緯。
35	セイディナ・リマム・ライ	人物紹介と抗争の背景・経緯。
36	アリン・シトエ・ディアッタ	人物紹介と抗争の背景・経緯。

第7章 植民地の仕組み

No.	テーマ	趣旨内容
37	植民地の行政	概要。
38	植民地の開発	社会経済の仕組みおよび奴隷貿易。
39	宣教師たちの役割	植民地支配における役割と植民地政策。
40	2度の世界大戦におけるアフリカ	セネガル人狙撃兵・経済援助・アフリカでの戦い。

第8章 植民地解体

No.	テーマ	趣旨内容
41	ブラザビル会議	自由への希求・下された決断。
42	独立への道	民族自決主義と国際連合。
43	フランス植民地における再編	背景・経緯、立案計画、フランス・アフリカ連合構想。
44	セネガルの独立とマリ連合	連合計画の概要とセネガル独立。

第9章 20世紀の発展

No.	テーマ	趣旨内容
45	医療の進歩	医療の研究・開発、抗生物質、移植手術、病気の撲滅。
46	交通と通信	さまざまな交通手段、宇宙開発、通信手段の進歩。
47	芸術	伝統芸術と現代芸術。

15. 収集資料リスト

番号	名称	形態	オリジナル/ コピー	発行機関	発行年
1	Niveau National Statistiques Scolaires, 1998/1999	図書	コピー	「セ」国教育省	1999
2	Niveau National Statistiques Scolaires, 1999/2000	図書	コピー	「セ」国教育省	2000
3	Niveau National Statistiques Scolaires, 2000/2001	図書	コピー	「セ」国教育省	2001
4	Rapport Economique et Financier du PDEF, 2002	図書	コピー	「セ」国教育省	2002
5	Programme Décennal de L'Education et de la Formation (PDEF), 2000	図書	コピー	「セ」国教育省	2000
6	Etat de Distribution des Manuels de L'Enseignement Elémentaire 2000-2001	図書	オリジナル	「セ」国教育省	2001
7	Sauvegarde des Manuels	図書	コピー	「セ」国教育省	2001
8	Rapport Général de Rentrée, IDEN Pikine, 2001-2002	図書	オリジナル	「セ」国教育省	2002
9	Cadre d'Orientation et d'Action pour l'Année Scolaire 2001-2002	図書	コピー	「セ」国教育省	2001
10	Protocole d'accord, PDEF, 2000	図書	コピー	「セ」国教育省	2000
11	Dimension Spatiales de la Pauvreté Humaine au Sénégal: Analyse Statistique et Modélisation, 2001	図書	コピー	「セ」国教育省	2001
12	Manuel de Suivi/Evaluation, 2000	図書	コピー	「セ」国教育省	2000
13	Suive de Objectifs de Développement du Millénaire au Sénégal, 2001	図書	オリジナル	国連開発計画 (UNDP)	2001
14	Analyse de la Situation de l'Enfant et de la Femme au Sénégal, 2000	図書	オリジナル	国連児童基金 (UNICEF)	2000
15	Document d'Evaluation de Projet pour une Proposition de Crédit	図書	コピー	世界銀行	2000
16	Quality Education for All Program, Appraisal Report, 2000	図書	コピー	世界銀行	2000
17	Annual Program Statement for the USAID/Senegal's Education for Development and Democracy Initiative (EDDI/SENEGAL) Program, 2002	図書	コピー	米国国際開発庁 (USAID)	2002
18	Aide et Action, Rapport d'Activité, 1998	図書	オリジナル	エイト・エ・アクション (NGO)	1998
19	Aide et Action, Rapport d'Activité, 1999	図書	オリジナル	エイト・エ・アクション (NGO)	1999
20	Aide et Action, Rapport d'Activité, 2000	図書	オリジナル	エイト・エ・アクション (NGO)	2000